慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	倫敦金融と外国銀行支店
Sub Title	
Author	
Publisher	三田学会
Publication year	1913
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.7, No.2 (1913. 4) ,p.391(175)- 400(184)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	雑録
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19130422-0175

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

其の前半期には幾多の不幸なる投資もありしが千九百三年より千九百七年に至る五ヶ年間に於ては投資は主としてカナダ及びアルゼンチンの鐵道に向つて行はれ甚だしき好成績を收めたりと雖も之等の多くは寧ろ偶然の結果と見るべきものなり。

內國株式投資と外國株式投資との收益間には著しき相違ありと雖もこれ前者は「金緣證券」(Giltedged bonds)の發行と同一視せらるゝ內國鐵道普通株の大額發行を含めるを以てなり。故に此の事實を離れて論ずる時は是等の數字より推論して外國投資は內國投資よりも有望且つ有利なりとか又は殖民地投資は屢々失敗せりと云ふこと能はざるなり。

大體に於て大會社の株式より取得する配當は公債社債の利子を超ゆること大ならず、前者は後者よりも僅に五厘方多きに居るのみにして投機的收入の不利を償ふべきもの唯此の僅少なる差あるのみ、而もこの差たるや現時よりも少しく不況なる時に際會せんか忽にして消失し去るべきものなり、されば近時漸く世間公衆が債券發行を喜ぶに至りたるもの故ありと云はざるべからざるなり。

倫敦の金融と外國銀行支店

本篇は Economic Journal 十二月號（昨年）所載 William F. Spalding 氏の The Foreign Branch Banks in England, and Their Influence on the London Money Market と題する一論文の抄譯なり。

倫敦に於ける外國銀行支店の數が近來頓に增加するに至りしを以て、英國銀行家間には倫敦の諸銀行が此等外國銀行支店の競爭を受け遂には壓倒せらるゝに至るべしとの虞惧を懷く者尠なからず。既に外國銀行は是迄英國銀行家の縄張內に在りし取引に手を出すに至りたりと云ひ且つ英國の正貨準備は遂に外國銀行家の左右する所となるべしと警告する者あり。而かも、吾人は外國銀行が敦倫に支店を設くるの結果として英國の商業及び金融界の資金は增加し、且つ外國貿易は之が爲めに增進するに至るべきものなることを記憶せざるべからず。

遮莫、本篇起草の目的は銀行業者間の競爭を論ずるに非ずして、單に外國銀行支店の用ゆる商業及び金融取引の方法を說明し且つ同時に金融市場に於ける此等支店の地位に論及するに在り。

外國銀行が倫敦に支店を設くるに至りたるは倫敦の金融界には爲替取引の便宜多きを以て也國際間の債務の大部分が倫敦に於て決濟せらるるの事實は大陸銀行家の注目せる所なるが、何處に於ても爲替手形は國際取引の媒介物にして且つ外國及び殖民地との商業に基づく送金上重要なる地位を占むるものなれば、各其の勢力範圍を擴張するには世界の最大金融市場なる倫敦に爲替事務取扱の本部を置くに若かずとは此等外國銀行業者の自覺せる所なりとす。

倫敦に於ける外國銀行支店は內國爲替手形をも取扱へども、其の取引せるは主として外國爲替手形なり。之に反して英國銀行家は概して內國爲替手形を取扱ひ、外國爲替手形の利益多き

にも拘はらず、之を取扱ふ倫敦銀行業者は數ふるに足らざるなり。斯くの如く英國の金融業者が此有利なる事業を等閑に附するは不可解のことにして、之に對して何等正當なる理由を發見することを能はざるなり。此等金融業者の多くは外國の公債株券等を所有せるにも拘はらず、外國爲替手形を割引すること罕にして、其の殆んど全部は外國人の經營に係る銀行及び割引店に依りて取扱はれつゝあり。

假りに英國の輸出業者が暹羅に貨物を輸出せんと欲したりとせば其貨物が例へば磐石に到着する迄には餘程の日數を要するを以て、其間に此輸出業者は貨物の製造を繼續する爲めに資金を要すべし。されば、此輸出業者は磐谷に於ける顧客宛にて振出したる爲替手形に船荷證書を添へて暹羅に於て支店又は代理店を有する或る外國銀行の倫敦支店に送り、此支店は、若し爲替手形の振出人が相當の信用を有する者なれば此手形を買ひ取りて、之を暹羅に於ける支店又は代理店に送致し次で此支店又は代理店は名宛人に對して爲替の引受に求め、遂に夫れが支拂を受くるに至るの順序なり。若し此爲替手形が支拂勘定にて振出されたるものなれば、割引當日に於ける暹羅拂爲替相場にて割引せらるゝものにして、此相場には銀行の支拂ふべき割引價額に對する利子をも含むものなりとす。然りと雖も、若し受取勘定ならば、爲替の拂出日附より起算して逆爲替が倫敦に到着する迄の日數を見積りて、此の期間に對する利子支拂の規定を爲替手形に書き加ふることを要求するを常とす。遮莫、支拂勘定の爲替手形を購入するは危險なる營業にして、銀行家は利子以外に爲替相場の變動に依りて利潤を收めんとなすものなりと雖も、支拂期日の到着する迄に不利の變動の爲めに却つて損失を蒙むることなしとせざるなり。

是れに由りて之を觀るに、外國爲替業は深き專門の知識を要すること明かにして、外國銀行支店は爲替手形振出人の信用及び人格の如何を卽座に知るの必要上顧客の金融歷とも稱すべき『鑑定表』と名くる記錄を備へることを要す。此表は顧客をば各其の信用の程度に應じて分類せるものにして、銀行家は外國爲替手形の提供者と取引をなすときに之を參考として用ゆるものとす。爲替の振出人が資產家なるか、又は其の支拂人が債務の辨濟を怠らざる者なるときは、振出人又は支拂人が比較的信用薄きものなるときよりも、爲替手形は高價に買取らるべし。

然れども、此爲替手形賣買の方法たるや最近に於ける商業事情の結果として多少變更せらるるに至りしが、此新方法は、多少之に反對する者なきにあらざるも、日毎に益〻普通に用ゐらるるの傾向を有す。倫敦に於ける外國銀行支店が其の顧客の爲めに爲替手形を引受くること卽ち是れ也。一商人の信用確實なるときは、外國銀行支店は商人に對して所謂『引受勘定』なるものを開始し商人は此勘定に依りて或る一定額に滿つる迄此銀行宛にて爲替を振出すことを得るものなりとす。此勘定を開始したるときは、輸出業者は爲替を振出し、爲替手形に船積證書を添へて、銀行に差出し、銀行は爲替手形を引受け、之を振出人に返附すると同時に船積證書を爲替の支拂地に發送す。此引受に對して銀行は少額の手數料を徵收するものとす。又輸出業者は輸出貨物に對する留置權を銀行に與ふる抵當證書を銀行に差出すべきものなるを以て、事實上其貨物を質に入れたるものと云ふべし。輸出業者は貨物の賣揚が輸入國に在る銀行の支店を通じて爲替の支拂日に又は夫れ迄に倫敦に送達することに盡力すべきものなるも、此爲替たるや今や既に銀行の責任に歸せるものなり。

此取引に對して銀行業者が徵收する手數料は

輕少なるが、然らば何故に銀行家は此等の引受手形に對して責任を負ふを敢てするかと云ふに銀行及び支拂地に在る其の代理店は附屬抵當物件を自由に處分するの權利を有し、且つ輸出品の處分に關し事實常に監視を怠らざるを以て、引受の危險は殆んど論ずるに足らざるを以てなり。されど、外國爲替には普通の內國爲替に見ることなき一特徵あり。爲替相場の問題卽ち是れなり。外國銀行支店は支拂期限に爲替が支拂はるゝときに爲替相場の變動に依りて利益を收めんと期待するものなりとす。

磐谷の一商人が貨物を英國に送りたる際には爲替手形は運羅より倫敦に向け送達せらるべし。此手形は多分三ヶ月拂にして、其手形の引受けらるゝときに提供せらるべき船積證書も之と共に送附せらるゝものとす。而して此手形が倫敦に到着するやゝ否や之を受取りたる外國銀行の倫敦支店は之を貨物の輸入商に提供し、之が引受を求め同時に船積證書を交附するものなりとす。

此引受手形は倫敦の金融業者間に需用の多き有價證券なるを以て、外國銀行家は次に此等の手形購買者と交渉を開始するの順序なるが、此交渉は手形仲買人の媒介に依る。手形仲買人は賣物となれる引受手形に關する詳細なる報告を得んが爲めに毎日外國銀行の倫敦支店を歷訪し支拂期限と引受人の所在地とに應じて手形を分類せる表を受取り、此表を用ひて內國銀行又は割引商の註文を仰ぐものなりとす。然れども內國銀行又は割引商人は一定の原則に準據して此種の引受手形を購入するものなり。卽ち手形關係者の信用の如何、見越割引步合現金取付高の見積等は皆手形を割引する者の顧慮する重要條件なり。されば、時としては金融市場に於ける割引步合を以て手形の割引を要求すること能はざるの事情ありて、爲めに手形仲買人は自己の顧客の需用せる手形に對して割引步合を指定することあり。若し此步合にして外國銀行家の同意ずる所とならば、後者は手形に裏書して、其代金と引換に之を仲買人と交附し、仲買人は更に之を自己の顧客なる倫敦の銀行又は割引商に讓渡するものとす。

銀行の引受けたる此等の手形は、不渡の場合には引受人に其支拂を要求し得るものなるを以て普通の商業手形よりも低率なる步合を以て割引せらるゝの常なり。

然りと雖も、此種の手形は悉く倫敦の商人の引受に係るものに非ずして往々にして、大陸の商人又は金融業者の引受けたるもの在り。此種類の手形を名けて『外籍手形』と云ふ。是れ、例へば、巴里に於て引受けられ、倫敦に於て支拂はるべき、手形の謂なり。而して上文に於て既に吾人の指摘せるが如く、內國銀行は此種の手形を割引するを好まざるのみならず、英蘭銀行は假令最も確實なる大陸の銀行又は金融業者の裏書を有するものと雖も、此種の引受手形をば一切割引せず。されば、仲買人又は割引商が此種の手形を外國銀行支店より讓受くるときには普通よりも高率なる割引步合を徵收す。

加之、內國銀行は倫敦市場に於ける此『外籍手形』の流通を阻止せんが爲めに、頃日『外國代理店』と名くる手形をも排斥することに定めたり。『外國代理店』とは大陸又は他の地方に於ける外國商人の倫敦代理店に依りて引受けられたる手形を云ふ。斯く此種の手形を排斥するの理由は此等外國商人の資產の大部分が外國に在るを以てなり。而して此種の手形に對して割引商は英國の商人の引受けたる確實なる手形に對して徵收するものよりも十六分の一乃十八分の一方高き割引步合を徵收せり。

次に外國銀行支店の引受けたる手形の場合を見るに此引受手形は其儘にては之を受取りたる

商人又は製造業者に對して殆ど何等の用を爲さざるものにして且つ營業の運轉資金を要することなれば、其受取人は手形支拂期限迄手を控へて待つことを得ざるなり。されば、此手形が引受けられたる以上は、直ちに取引銀行又は金融業者に當時の割引歩合を以て之が割引を求むべし。此種の手形は『銀行手形』と稱し、確實なる外國銀行の倫敦支店の引受に係るものなるを以て、普通の商業手形の割引歩合より餘程低率なる歩合を以て之を買取る人を求むるは困難なることに非ず。されど、此種の引受手形を以て『外國代理店』と混同すべからず。前者は倫敦に於て振出し、引受け且つ支拂はるゝものなるに反し、後者は外國に於て振出され、倫敦到着後引受けられたるものなり。

引受手形は、倫敦に送致せられたる外國手形なると、外國銀行の支店に依りて引受けられたる手形なるとを問はず、支拂期限迄に數回轉輾賣買せらるゝものなり。されば、仲買人は常に其賣買の仲買を依囑せらるゝのみならず、讓渡の交渉を受けたる確實なる手形は悉く之を買取るべきものと期待せられ居るを以て、手形仲買業が巨額の資金を要することは明かなるも此資金を固定せしむることを避けざるべからざるが故に、仲買人は自身多數の手形を支拂期限迄持越すこと能はざるなり。之が爲めに仲買人の購入せる手形は皆再び割引せられ、投資方法として爲替手形を買收せんと欲せる倫敦、地方又は大陸の銀行に賣拂はる。此場合に於て銀行は市場歩合よりも稍低率なる割引歩合にて手形を購入すべし。

例へば、假りに仲買人が三ヶ月拂手形を年三分の割合にて買取り、之を更に二と十六分の十五%にて金融業者に讓渡したりとせば、仲買人は此賣買に於て多少の利益を得ることとなるべし。銀行が仲買人をして此利益を享受せしむる

の理由に二あり。卽ち(一)仲買人は手形關係人の信用の如何を熟知せるを以て、手形の確實を保證するものなると、(二)銀行が仲買人に長短の支拂期限を適宜に組合せたる手形の提供を依賴すること是れなり。支拂期限を組合せたる手形とは、銀行が支拂準備金を充實するを要する時期に丁度支拂期限に達すべき手形を所有するの目的を以て、三ヶ月拂手形幾何、四ヶ月拂手形幾何、六ヶ月拂手形幾何と云ふ割合にて手形を揃へることを謂ふ。

手形仲買人が、自己の資金以外に、コール又は短期コールにて內國銀行より巨額の資金を借入るゝことは世人の知れる所なるも、外國銀行支店も亦多額の資金を仲買人に融通せることは經濟學者が夫程心付かざる事實なりとす。

既に上文に於て述べたるが如く。倫敦に於ける外國銀行支店は各其自國人に對するのみならず、內國商人に對しても多大の便宜を與へつゝあるものにして、既に是迄多額の資金を英國に輸入し且つ猶ほ現に轉入して敏活に爲替手形業を經營せるを以て多くの資金を金融業より轉じて之を產業に投入すること得せしむるの結果を生せしめつゝあり。倫敦の手形仲買人は有利なる割引業に對して此等外國銀行に負ふ所尠からず。且つ倫敦の金融市場に於て取引せる金融業者は皆多少外國銀行支店の助力に因りて利せるものなりとす。さはれ。吾人が特に讀者の注意を促さんと欲することは金融金場に於ける『短期貸付資金』と稱するものに對する此等外國銀行支店の關係なり。手形仲買人の借入るゝ資金は悉く此『短期貸付資金』より仰ぐものなりとす。勿論此資金は全部手形仲買人に貸付けらるるものに非ずして、株式仲買人に短期貸付として融通せらる金額も亦僅少に非ざるは喋々するを要せず。

最も此短期貸付資金の一部は之を倫敦の株式

銀行より仰ぐことを得るものなれども、外國銀行支店の供給に係るものも尠からずして、且つ此等支店が何處より此資金を得るかを知るは困難ならず。上述の如く、外國銀行支店は外國より送達せられたる爲替手形を賣却して、多額の資金を收得するものなるが、猶ほ此外に倫敦に於て振出されたる手形の引受に備へる爲めに、電報爲替又は一覽拂爲替手形にて多額の資金を外國より取寄せ、之に依りて倫敦の株式銀行より正金を引出すの權利を得るものなりとす。されば、若し直ちに此資金を他の有利の目的に利用するの機會なければ、此資金は回收するの必要生ずる迄コール又は短期コールとして直ちに貸付らるべし。此貸付に對して手形仲買人は普通確實なる爲替手形を擔保として提供す。然りと雖も、債務者の階級の何たるを問はず、擔保として一般に用ゐらるゝものは『長期物』及び『短期物』卽ちコンソル、國庫債券、大藏省證券等の確實なる現金同樣の有價證券なり。

此種の貸付金の利子は普通の需用供給の原則、卽ち、此場合に於ては、コール貸付金の需用と其の供給の程度に依りて定まるなり。倫敦株式銀行に遊金あれば、仲買人に對する貸付の競爭生じ、爲めに步合は落下すべし。されど、若し銀行が支拂準備を充實せんとするに至らば、貸付を回收すべきを以て、步合は上騰すべし。外國銀行支店は此步合の調節上尠からざる功績を有するものにして、倫敦金融市場に於て重要なる地位を占む。此等外國銀行支店は、其取引の性質が特種のものたると、倫敦金融市場に於て多少超然たる地位を保つものなりとの理由に依り、他の資金供給者が貸付を緊縮せざるを得ざるときに多少の遊金を有することあり。此際に當りて、外國銀行支店が其の遊金をば、短期にて貸出すとせば仲買人のみならず、倫敦の銀行及び商人も亦皆利益を受くるに至るべし。如何

となれば、此貸出は金融の逼迫を緩和し從つて步合の暴騰を防止すべければなり金利を常に低率に維持するの重要なること、換言すれば、低利資金が英國の外國貿易を維持し、且つ益々之を增進せしむるに缺くべからざることは、萬人の認むる所なるを以て、若し外國銀行支店が倫敦に於て利子步合を低率に維持する上に與つて力あるものなることを知らば、英國に於ける其の留置が英國及び殖民地の產業の發達に貢獻するの結果を有するは疑を容るゝ餘地なき所なりとす。

前記の短期貸付資金の特色の一は其多寡が常に略一定せることにして、短期貸付資金の供給は日々左程の增減なく、唯之を借入れる者が時時變はるのみなり。英國に於ける貸付資金の大部分は、人の知れるが如く、銀行の保有に係るものにして、一銀行が支拂に備へる爲めに其貸付金を回收するときは、其回收額は自働的に他の一銀行の手に渡るものなるを以て、此銀行は前者が回收せると同額の貸付を爲すことを得るなり。されば、內國銀行の立場より之を觀れば、資金の回收及び貸付の移轉を意味し、貸付の增加を意味するものに非ず。然りと雖も、外國銀行支店の場合には異れる現象を呈することあり。

倫敦の各銀行の有せる資金の多くは顧客の預金、當座勘定の殘金等より成るものなれば、各銀行が一齊に支拂の要求を受くることは罕れなりとせず。(一—三月に於ける內國稅の徵收は其一例なり) 此場合に銀行も亦一齊に貸付を回收すべし。而して斯くの如く回收せられたる短期貸付金は軈て英蘭銀行に預入せらるゝに至るものなるが、英蘭銀行は直ちに此資金を再び貸出して市場に放散するなり。されば、英蘭銀行の貸出が曩に回收せられたる貸付金を市場に復歸せしむるに過ぎざるものなるは明かなることにして、之を以て新貸付と看做すことを得ざるな

り。

上記の如き貸換の生じたるときに、外國銀行支店は新たに貸出を爲すものなるやと云ふに、市場に新資金を輸入する場合に於てのみ然りと答ふることを得べし。若し外國銀行支店が其の取引せる倫敦の或銀行より預金を引出し、或は又外國より倫敦に宛て振出したる要求拂爲替手形の支拂を求むるとせば、此際に於ける資金の出入は單に移動を意味するに外ならず。されど、實際に短期貸付資金を增加せしむれば、夫れ丈倫敦市場を潤ほすものなりとす。卽ち外國銀行支店が金貸又は地金を輸入するとき是れなり。此金貸又は地金の到着するや、否や英蘭銀行に於ける外國銀行支店の貸勘定は其額丈增加するることゝなり、後者は直ちに之を短期貸付として放出するに至るべければ、此方法に依る短期貸付資金の增加が貸付の膨脹を意味するものなることは明かなり

四〇〇 世界の石炭產額と消費

本篇は『エコノミスト』所載の World's Coal と題する一論文の梗概なり。

昨年三月に於ける炭鑛々夫同罷盟工は端なくも英國の炭鑛事業が如何に重要なるものなるかを明かにせり。石炭の代用物の生產販賣に從事せる者は此機關を利用して、石炭が石油及び他の液體燃料と比較すれば不便、不潔且つ其他の弱點を有する燃料なることを指摘するに力めたり。其の結果、此等の燃料に就きて種々の實驗行はれたるが、石油は汽船のみならず汽關車に用ゆる動力用としても石炭の代用物として有望なるものなることを發見せり。然りと雖も、石炭が重要なる產物たるの資格を失ふに至るべきは遠き將來のことにして、過去に於て英國の炭鑛が秘露の鑛山又はニーラ・ムーラ山の麓に於ける金剛石の產地よりも一層貴重なる富源なりしが如く、將來に於ても亦英國製造業繁榮の一

大要素たるべし。左表は英國に於ける石炭產額と諸外國に於ける石炭產額とを比較せるものなりとす。

世界の石炭の產額

單位百萬噸

年次	英本國	英領	合衆國	獨逸	佛國	其他	合計
一八七六	一三三・三	三・四	四七・六	三七・八	一六・四	三三・一	二六一・六
一八八六	一七七・五	六・九	一〇一・五	五七・一	一九・一	三〇・四	三八二・五
一八九六	一九五・四	一四・一	一七一・四	八四・三	二六・三	三六・九	五五二・四
一九〇六	二二一・一	三三・〇	三六九・八	一二四・九	三三・九	九〇・八	九二一・五
一九一〇	二六四・四	四一・九	四四七・八	一五〇・四	三七・〇	八三・三	一〇三三・九
一九二一	二七一・九	四二・二	四四三・〇	一三九・二	三六・〇	五五・七	一〇二九・〇

英本國、獨逸及び佛蘭西に於ける千九百十一年中の石炭發掘は是迄に無き多量に達しけるが白耳義に於ける產額は最近六ヶ年中の最低額を示したり。合衆國に於ける千九百十一年中の產額は千九百十年の產額に及ばざること四百七十五萬噸なりしが、十年以前の產額と比較すれば、多大の增加なり。千九百六年より千九百十年に至る迄の前記諸國に於ける平均一年の產額は八億七千萬噸にして、此五年間に於ける年產額の增加は一億六千萬噸なりとす。此增加量の中一億三百萬噸は合衆國、三千二百七十五萬噸は英國、三千五十萬噸は獨逸の增加額なり。而して、全世界に於ける石炭總產額の中英國本國は四分の一以上を產出し、合衆國は五分の二以上を產出す。又、英國に於ける一人當りの產額は前記四ヶ國に於ける一人當りの產額より多し。千九百十一年中に於ける平均一人當りの產額は卽ち次の如し。

英本國	六噸	合衆國	五噸
白耳義	三噸	獨逸	二噸強
佛蘭西	一噸		

千九百十年中英國に於て採炭業に從事せし者は一〇二七・五六〇人にして、從業者一人當りの產額は二百五十七噸なり。此從業者一人當りの產額に於ては英國は前記五ヶ國の第二位に居るも、合衆國の平均卽ち六百十八噸には遙かに及ばざるの觀あり。斯くの如く英米間に於て從業